



12月1日は世界エイズデー

世界エイズデーとは「世界レベルでのエイズのまん延防止+患者・感染者に対する差別・偏見の解消」を目的に、WHO（世界保健機関）が1988年に制定したものです。日本のHIV感染者・エイズ患者数の累計は32,000件を超えています（2021/6/27現在）。HIV感染者は**20~30歳代**が多く、都道府県別では**大阪府が全国2位**（HIV感染者数）となっています。

現在、身体の中のHIVを完全に排除する治療法はありません。しかし医療の進歩により、感染の早期把握・治療の早期開始+継続を行うことで、エイズの発症を防ぐことができ、HIVに感染していない人と同等の生活を送ることが期待できるようになりました。

HIV/エイズについて正しい知識を身につけ、自分自身・大切な人を守るために行動しましょう。

HIV≠AIDS HIVとエイズの違い

HIV（ヒト免疫不全ウイルス）は、ウイルスなどの外敵から体を守る「免疫細胞（CD4細胞）」に感染し、免疫力を低下させていきます。エイズ（後天性免疫不全症候群）は、HIVに感染し、免疫力が低下することによって発症する病気です。



感染経路は3つ ①性的感染 ②血液感染 ③母子感染

国内での新規感染経路は、性的接触によるものが**80%以上**です。
 ※HIVは感染力が低く、日常生活においては性行為以外で感染することはありません。

感染経路が限られているので、HIV感染は予防できます。
 自分と大切な人の安全のために、予防行動について話し合い、協力して予防しましょう！

①性的感染

HIVは主に血液や精液、膣分泌液に多く含まれている。コンドームを使用しない性的接触などで粘膜や小さな傷口から感染。

予防方法

- ・若すぎる時期の性的接触は身心にトラブルを起こしやすいため性的接触をしないという選択肢も考えてみましょう。
- ・コンドームを正しい方法で使用しましょう。
- ・母子感染については妊娠前又は妊娠中のできるだけ早い時期に感染の有無が確認できれば、出産前後の適切な医療により、子供への感染率を低下させることができます。
- ・血液感染を防ぐためには、麻薬、覚醒剤など注射器の回し打ちをしない。カミソリや歯ブラシ、ピアスなど血液がつく可能性のあるものは共用しないようにしましょう。

今年はレッドリボン30周年

レッドリボンは、HIV/エイズに関する運動の世界的なシンボルです。今年**はレッドリボン30周年**です。レッドリボンは、あなたがエイズに関して偏見をもっていない、エイズと共に生きる人々を差別しないというメッセージです。エイズのことを、みんなで考えましょう。

HIV感染症の検査 Q&A

Q.どこで検査できる？

A.保健所や病院、郵送などで検査できます。
 保健所=匿名+無料（予約必要な場合あり）
 匿名のため居住地以外でも受けられます。

Q.感染したかも…すぐに検査できる？

A.HIVに感染してもすぐには血液中に検出されません。
 感染の可能性があった機会から3か月以上経ってから受検しましょう。

「自分は大丈夫」と決め付けず、**早期発見・早期治療及び感染拡大防止のためにも、検査を受けましょう！**



性感染症（STI）について

性感染症（STI・STD）は、性行為で感染する病気の総称で、若者を中心に感染者が増加しています。具体的には、梅毒・淋病・性器クラミジア感染症など10種類以上あり、HIV感染症/HIVもSTIのひとつです。**STIに感染していると性器の粘膜が傷つくことがあるため、そこからHIVに感染しやすくなります。**また、ほうっておくと女性の場合、不妊症や子宮外妊娠をおこすことがあり、妊娠・出産時に母子感染の可能性も出てきます。**STIのほとんどはコンドームで予防できます。必ず正しい方法で使用しましょう！**

個人のSNSや口コミではなく、公的機関の情報を確認する習慣を身に付けましょう。



知ってる?? SDGs（エスディーゼーズ）（Sustainable Development Goals）

SDGsとは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた17の目標です。

SDGs17のゴールのひとつに『**目標3：すべての人に健康と福祉を**』があります。

その中に、「2030年までに、**エイズ**、結核、マラリア及び顧みられない熱帯病といった伝染病を根絶する。（以下省略）」とエイズについても記載されています。2020年末現在、世界中で3760万人の人々がHIVと共に暮らしています。世界では1日に約1107人の若者（15~24歳）がHIVに感染しています。HIV感染症（エイズ）は予防法を知っていれば、感染を防ぐことができます。正しい情報をきちんと知り、健康的な生活を確保しましょう。